

平成19年度福岡支部研修会の報告

福岡支部 長尾 陽

福岡支部では、12月7日に社団法人 福岡県測量設計コンサルタント協会から講師の方をお招きし、研修会を行いました。県および町会員合わせて25名の方に参加していただきました。

研修会は、福岡県建設技術情報センターで行われた測量研修（8月6日～8日）で使用されたテキストを中心に進められました。研修会が15時からであり時間が短かったため、「測量の分類」や「最近の測量事情」、「測量報告書と精度管理表」等を簡単に説明されました。その中でも、測量報告書に記載する事項として重要な項目、および測量技術者としての心構えの2点について詳しく説明されました。具体的に、前者は、測地の立入る時にどのような経緯で入り、測量にあたりどのような注意事項等を受けたか等の実際に測量するまでの経緯や、測量後の対応についてまでをきちんと記載することにより、その後の事業を円滑に進められるということと、加えて、精度や測量成果品についての注釈も記載しておくことで、後日、測量報告書を利用する時の信頼性が増すということでした。後者は、測量する前に地域住民の方に挨拶に行く時は、新品じゃなくてもいいからちゃんと洗濯した作業着を着て挨拶に行くことが最低限の礼儀だということでした。

これまで測量報告書を見てきた中で、測量成果以外の報告書はあまり目を通さなかったのですが、今回の研修を通じて上記の事柄がきちんと記載されているか、記載されているなら記載されている重要な部分をきちんと把握して事業を進めていきたいと感じました。そうすることにより、事業全体が少しでも円滑に進んでいくのではないかと思います。

質疑応答の時間では、精度管理の閉合比のことや、2000年度平均成果等の議論がなされました。

以上、平成19年度福岡支部研修会の報告でした。忙しい中、社団法人 福岡県測量設計コンサルタント協会の講師の方、ありがとうございました。

研修会参加者 県職員22名 市町村職員3名

支部活動状況



福岡支部長の挨拶状況



(社) 福岡県測量設計コンサルタントからの
講演状況



参加された職員による意見交換会の状況